

別記様式（第2条関係）

会 議 結 果 報 告 書

令和7年6月6日

会議の名称	第2回第二次志木市将来ビジョン等策定委員会
開催日時	令和7年5月12日（月） 9時30分～10時10分
開催場所	市役所3階 庁議室
出席者職氏名	委員長：香川市長 副委員長：櫻井副市長、柚木教育長 委員：外立総合行政部長、豊島総務部長、石塚市民生活部長、 清水子ども・健康部長、滝田都市整備部長、 松井市長公室長、青木上下水道部長、今野教育政策部長、 川幡会計管理者、山崎議会事務局長、 篠崎行政委員会事務局長 （計14人）
欠席者職氏名	中村福祉部長 （計 1人）
説明員職氏名	政策推進課 松田課長、柴谷主査、矢野主任 ランドブレイン株式会社 菅原、稲葉、三溝 （計 6人）
議 題	1 開会 2 議題 （1）第二次志木市将来ビジョン・将来構想（案）について （2）その他 3 閉会
結 果	議題（1）～（2）について、事務局より説明し、質疑応答を行った。 指摘事項を反映し、審議会に諮る。

説明員職氏名	松井市長公室長、松田政策推進課長、柴谷政策推進課主査、 矢野政策推進課主任
会議内容の記録（会議経過、結論等）	
1 開会 2 議題 ・松田政策推進課長から（１）～（２）について説明し、内容について質疑応答を行った。 （１）第二次志木市将来ビジョン・将来構想（案）について （委員長） 「的確に情報が伝わるまち」とは施策においてか。 （事務局） 2つの視点がある。1つ目は、市が取り組んでいる施策について市民にきちんと情報が伝わるようにすることである。昨年度実施した市民ワークショップでは、市の取組について知らなかったという意見を多くいただいた。2つ目は、市外の人に対するシティプロモーションである。市が取り組んでいる施策について対象である市民だけでなく、市の魅力として広く発信するためには市ホームページにおける情報掲載を強化する必要があると考える。市民はもとより市外の人にも伝えるという視点を明確にすることで、情報が的確に伝わるのではないかと考えている。 （委員長） 「タイムリーに情報発信ができるまち」はどうか。「的確に情報が伝わる」では防災的なイメージがある。 （事務局） タイムリーとはタイミングの話だが、情報化社会において、あふれる情報の中でも志木市の情報を見つけてもらえるように、伝わるようにという点を入れたい。タイミングに限らず、ターゲットに確実に伝わるように、という点がポイントである。 （委員長） 現案では防災関係のニュアンスが強く情報発信の「発信」としての意味に取れない。 （委員） 「欲しい情報にいつでもアクセスできる」という表現の方が良いのではないか。 （委員）	

「アクセスできる」は利用者側の意識である。市としてはアクセスさせたい。
(副委員長)

「情報を相手に届ける」「情報発信をしていく」と能動的な言葉があるが、その中で「情報が伝わる」はどうなのか。もう少しアクティブな表現でも良いと思う。受け手が市民ということよりも、市が発信したいということが言いたいのだろう。

(委員長)

「的確に情報を伝えるまち」ではないか。検討してほしい。

(事務局)

表現を再検討する。

(副委員長)

課題3の「地域活動の担い手不足」について、内容を読むと町内会が想定されるが、他にもPTAをはじめ、多くの地域コミュニティの活動母体が担い手確保において苦境に立っていると思われる。また、課題4の気候変動について、地震について特筆しなくてもよいか。そして、市の概況について、地図上に河川名、路線名を表記すべきである。

(事務局)

ご指摘のとおり、地域活動の担い手不足は民生委員や母子保健推進員等、あらゆる面で課題となっている。具体的に記載すると記載内容の範囲に限られてしまうと考え、幅広な表現として「地域活動の担い手が不足している」という表現とした。地震の特筆について検討する。市の概況へ河川名、路線名を追記する。

(副委員長)

地域コミュニティの衰退の危機をもっと出すべきではないか。PTAの担い手不足も全国的に言われている。

(事務局)

コミュニティの視点も重要な課題と捉えており、計画の中に組み込む予定である。修正については検討する。

(2) その他

(委員)

目標人口8万人は目標が高すぎるのではないか。

(委員長)

人口増につなげていくという意識を全庁的に持つためにも、高みを目指すということは良いのではないか。

(委員)

かつての総合振興計画には土地利用に関する項目があったが、今では直接的に

は扱われていない。土地の高度利用等は土地が少ない分、必要なことだと思う。そのようなことを見立てれば、8万人を目標人口とするのは交通の便の良さやベッタウンという側面があるので良いのではないか。

3 閉会

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。